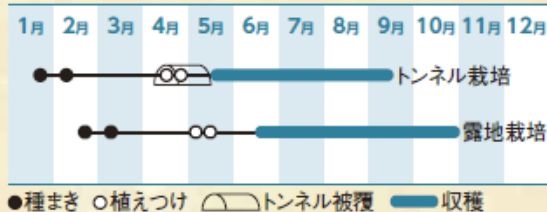




品種例
・セニョリータレッド
・セニョリータイエロー など

栽培カレンダー



カラーピーマン

栽培のポイント

① 肥切れしないように

栽培方法は普通のピーマンと変わりませんが、完熟して発色するまでには長い日数(開花してから40~50日)を要します。元肥を十分に与え、定期的に追肥をしましょう。

② 枝折れに気を付けましょう

ある程度生長するまでは枝が細く、風で折れたり倒れたりしやすいので、支柱を立てて誘引を入念に行いましょう。また、摘果して果数を制限しましょう。

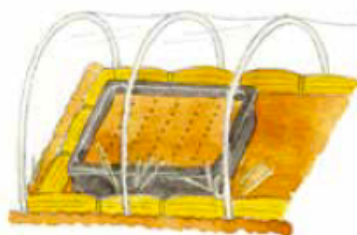
③ 土の乾燥に注意

土壌の乾燥は植物のカルシウム吸収を抑制する原因となり、尻腐れ症を引き起こします。ワラを敷いたり畝間に水を引き入れたりすることで畝の中心まで十分に水を行き渡らせ、乾燥しないように管理することが大切です。

1 苗づくり

育苗目標温度
発芽 28~30℃
生育 地温22~25℃
気温15~30℃

本葉1枚のころ4号のポリ鉢に移植する



日中35℃以上に室温を上げないように換気する

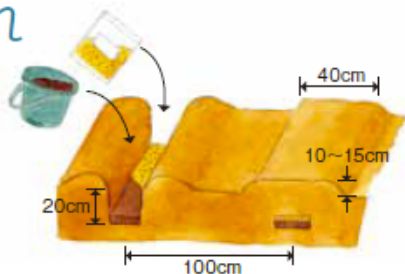
茎が太めでしっかりしている

よくできあがった苗



2 元肥入れ

(1株当たり)
堆肥 2~3握り
油粕 大きじ2杯

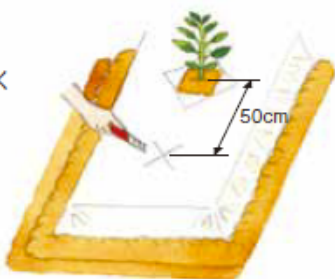


3 植えつけ

マルチする前に十分灌水しておく

植えつけの2~3日前から畝に十分水をやり、ポリフィルムを畝の前面に覆って土を温めておく。かみそりなどで十文字に切り目を入れ、苗を植える

早どりのためには、植えつけ後、トンネル被覆をする



4 支柱立て・誘引

主枝と勢いの良い側枝2本を残して3本立てにする
ピーマンは枝が弱く、風で折れたり倒れたりしやすいので、支柱立ては早めに。茎が太るようにゆとりをもたせて8の字に縛る

育つにつれて支柱を増やし、枝を固定する

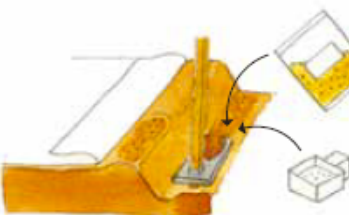


5 追肥

第1回(1株当たり)
化成肥料 小さじ1杯
油粕 小さじ1杯
花が盛んに咲き始めたころ、肥料をマルチの穴に施す



第2回(1株当たり)
化成肥料 大きじ1杯
油粕 大きじ2杯
ポリマルチをめくりあげて肥料を施し、鍬で通路の土をやわらげて畝に寄せ上げる。マルチを元に戻しておく



第3回以降
第2回の要領で15~20日に1回を目安に施す

6 灌水・敷きわら

梅雨明け後、マルチの上にわらを敷き、地温の上がりすぎを防ぐ。夏の乾燥には弱いので、乾く畑ではときどき灌水をする



7 害虫駆除

アブラムシ、タバコガなどにやられやすいので、殺虫剤を早めに散布して防ぐ。先端部と葉の裏によくかかるように

8 収穫

完熟果が甘くておいしいのは赤、黄、オレンジ色。ほかにも茶、黒、紫、白がある

